

# GOVERNOR'S

Rotary  
District2530

イマジン  
ロータリー

## MONTHLY LETTER 2

Rotary International District 2530 Vol.8

ガバナー月信 2023年 / 2月号

2023



喜多方市山都町 寒晒しそば寒流浸し

### CONTENTS ガバナー月信 2023年2月号

ガバナーメッセージ.....	2	第5期 R L I パートIII 開催報告 .....	5	マスコミトップインタビュー.....	8
規定審議会代表議員報告.....	3	地区ロータリー財団補助金奨学生		第41回RYLA研修会参加者募集 .....	9
第10回全国危機管理委員長及び		面接選考試験報告.....	6	新会員紹介.....	10
青少年交換委員長合同会議参加報告...	3	第5回諮問委員会.....	6	12月会員数報告 .....	11
次期ガバナー補佐候補者研修開催報告...	4	第2回ガバナー補佐会議開催報告 .....	7	職業奉仕委員会・ロータリー国際大会 2023 .....	12
インターアクト国際理解研修開催報告...	4	後期地区委員会総会開催報告.....	7	公共イメージQRコード .....	12

国際ロータリー第2530地区 2022-23年度 ガバナー 佐藤正道

ガバナー事務所 〒966-0092 福島県喜多方市市清水台2-92 (南)中野商店2F  
TEL: 0241-23-6016 FAX: 0241-23-6026 E-mail: 22-23sato@ri2530.com

地区事務所 〒963-8831 福島県郡山市七ツ池町 26-3  
TEL: 024-954-6755 FAX: 024-954-6615 E-mail: chikujimusyo@ri2530.com

## ガバナーメッセージ



国際ロータリー第 2530 地区  
2022-23 年度ガバナー

**佐藤 正道**

(喜多方RC)

ロシアがウクライナへ軍事侵攻してまもなく2年目を迎えようとしています。エネルギーや食糧の供給国であるロシアが経済制裁を受けることにより、エネルギーや食糧が供給不足に陥り、価格は高騰しています。その価格上昇の影響を受けやすいのは低所得者層を多く抱える新興国や開発途上国だと思います。この紛争が元となり新たな火種が起きないことを祈るばかりです。

ロータリーにおいて平和のキーワードでまず思いつくのがロータリー平和フェローだと思います。世界各地で平和と開発を推進し、紛争解決に貢献するリーダーを育成するため、ロータリー平和センターは2002年に創設され、今では世界に7か所、8つの大学に設置されており、この20年間で1,500名を超えるフェローを輩出してきました。

修了したフェローは世界各地の政府、NGO、教育、研究機関や、国連や世界銀行などの国際機関で活躍しています。しかしながら、戦後平和国家として国際社会の平和に貢献してきた日本からのフェローはわずか38名にとどまっております。今後より多くの優秀な人材を送り出していかなければならないと思います。

以前ある会員から、ロータリーは見知らぬ世界のために寄付するより、自分たちの地域社会にもっと貢献すべきだと言われたことがありました。その言葉に、私たちの事業や生活が安定して営むことができるのは、世界が平和だから

ではないでしょうか。世界を平和に保つためにロータリーは様々な国際的なプログラムを実施しているんだと思いますよと答えました。

世界ではウクライナ紛争のみならず、未だ多くの紛争が続いていますが、これらの予防に対してロータリーは無力だったのでしょうか。紛争の原因は政治的、宗教的なものなど、私たちが関与しえないこともあり、すべての事案に対処することはできません。ただ一つ言えることは、私たちが行ってきた奉仕活動がなければもっと多くの争いが起きていたのではないのでしょうか。私たちの活動が紛争原因である貧困をなくし、疫病をなくし、教育環境を改善し、持続可能な経済活動を助長したことなど、これらロータリー財団の7つの重点分野を実践するロータリーの奉仕活動がまさしく平和をもたらす希望となっていたのだと思います。

今、遠い東欧の惨事が日本へも大きな影響を及ぼし、世界中に広がっています。未だ終戦の兆しは見え、混沌とした世界情勢は今後さらに悪化することもあり得るかも知れません。この影響が新たな紛争を生み出さぬよう、たとえ不自由な状況下においても、より一層積極的に活動していかなければいけないと思います。

2月23日はロータリー創立記念日です。その後1週間の「世界理解と平和週間」に合わせ、4人の先駆者に思いを馳せ、皆さんで語り合う場を設けてみてください。

## 規定審議会代表議員報告



2530 地区「20-21～22-23」  
代表議員 パストガバナー

**酒井 善盛**  
(南相馬RC)

22-23年度は3年に一度開催される規定審議会の年にあたり2022年4月10日-14日の5日間米国イリノイ州シカゴで行われました。規定審議会代表議員の任期は3年間です。「石黒年度7月1日から志賀年度、佐藤年度の6月30日」今回はコロナ対策の影響で日本の34地区からはインパーソン9名バーチャル25名です。規定審議会は一度ですが決議委員会3年間で数回出席をしなければなりません。特に今回はバーチャル組の25名ロータリー117年の歴史の中で初めての経験をすることになりました。シカゴ時間に合わせて行われますのでPM10時から翌朝7時まで五日間連続で94立法案の審議が

行われました。「事前審議で取り下げた議案が9件」のべ40時間をかけて審議された議案は85件でした。日本は25件で最多でした、RI理事会20件、米国、ブラジル、インド、台湾等世界で40件でした。細部については地区研修協議会、諮問委員会、地区規則手続委員会、地区運営規定委員会で報告をさせていただきましたが、再度確認をされたい方は小生に連絡をいただくか、my Rotaryに掲載されていますので閲覧してください。

規定審議会はロータリー唯一の立法機関です。採択された議案はロータリーの法律となり遵守することになります。残念なことに2530地区からは規定審議会の提出議案も決議委員会の提出も今回はありませんでした。小生の力不足を痛感し会員の皆さんにお詫びを申し上げます。来る2025年の規定審議会では当該ガバナーを中心に代表議員になられる方は十分に時間をかけて議案提出をお願いいたします。

## 第10回全国危機管理委員長及び青少年交換委員長合同会議参加報告 12月4日



青少年交換委員会

**委員長 原田 康博**  
(いわき平東RC)

昨年(2022)の12月4日(日)午後1時よりAP日本橋の6F「Fルーム」にて、1部が危機管理委員長会議、2時40分より2部の青少年交換委員長会議がリアルタイムで開催されました。危機管理委員長が所要にて欠席のため、私は双方の会議に出席してまいりました。会議に先立って頂いた資料によりますと、2022-23年度の派遣学生の人数が90名でしたが、2023-24年度の派遣候補の学生数は、69名(2022年11月29日時点)となっております。

危機管理委員長会議は、RIJYEM理事長の上山昭治様の開会挨拶に始まり、次に副理事長の片山勉様より「危機対応について」と題して、危機管理ハンドブック作成の背景、地区危機管理委員会の充実と強化、対応について、基本方針、国際ロータリーのハラスメントに関する基本となる規定、不祥事の公表とマスコミ対応、プライバシー・個人情報について、ガイドラインロータリーのコミットメントに関する声明(DEI)、等々の説明のあとに最も重要なのは、事故・事件をいかに事前に防ぐかであり、研修が重要であることを説いておりました。続いて近藤眞道様より「青少年プログラムに於ける地域リーダーの役割」と題しての講義があり、終わりに第2700地区の危機管理研修会についての報告につい

ての発表があり、危機管理委員長会議が終了いたしました。休憩時間を挟み2部の青少年交換委員長会議が、神野重行副理事長の挨拶で開会された後、「YESSの運用状況報告」と題してYESS改修点についての説明と、運用状況及び注意点等の説明がありました。次に「交換実施半年後の状況報告」と題し、IBSビザ申請時のトラブル、AUSのRIJYEM保険プラン加入拒否、早期帰国の事案「拒食症」、「アプリケーションフォームの改定のお知らせ」と「入国システムVisit Japan Web」についての説明がありました。次に「白馬RYEスキーキャンプ」のお知らせと、全国青少年交換研究会 新潟会議の案内があり会議が終了いたしました。我々青少年交換委員にとって避けることのできない共通の課題であり、タイムリーで大変有意義な会議でありました。



## 次期ガバナー補佐候補者研修開催報告 11月26日・12月17日



次期地区幹事  
**坪井 大雄**  
(福島RC)

11月26日(土)、12月17日(土)にガバナーエレクト事務所に於いて「次期ガバナー補佐候補者研修」が、開催されました。

この研修は、「地区運営規定」に則り、今年度は3回実施されます。

### <第1回研修>

佐藤ガバナー、右近ガバナーエレクト、そして石黒地区研修リーダー、芳賀次期地区研修リーダーからの挨拶の後、以下の3テーマで研修が行われました。

- ①「2023-24年度地区運営の基本方針」  
講師：右近ガバナーエレクト
- ②「ガバナー補佐に求められるロータリー知識」  
講師：阿久津パストガバナー
- ③「ガバナー補佐の役割」  
講師：地区研修リーダー石黒パストガバナー  
引き続き、RLI方式で「ガバナー補佐の役割、現状・課題・抱負」をテーマに石黒地区研修リーダーがコーディネーターとなって意見交換を行いました。

### <第2回研修>

佐藤ガバナーの挨拶の後、以下のテーマで研修を行いました。

- ①「地区の組織・運営について」  
講師：平井パストガバナー
- ②「ロータリーの組織規程と地区運営規定について」  
講師：次期地区研修リーダー芳賀パストガバナー  
引き続き、第1回同様、RLI方式で「地区運営の現状と課題、効果的な地区とは？」をテーマに平井パストガバナーがコーディネーターとなり、意見交換を行いました。

第1回、第2回とも、最後に石黒地区研修リーダーより講評をいただき、終了しました。

※次期ガバナー補佐候補者は、以下の皆様です。(敬称略)

分 区	氏 名	所属クラブ
中 央 分 区	高橋 金一	郡山西RC
県北第一分区分区	安部 敏弘	二本松あだたらRC
会 津 分 区	相原 清司	会津若松南RC
いわき分区分区	大平 守彦	いわき平中央RC
県北第二分区分区	海老原三博	保原RC
県 南 分 区	佐藤 靖一	白河南RC
相 双 分 区	泉田 征慶	浪江RC
県 中 分 区	吉田 太一	常葉RC

なお、第3回研修(最終研修)は、2月18日(土)に福島市に於いて開催予定です。

## インターアクト国際理解研修開催報告 12月21日



インターアクト委員会  
委員長 **久井 貴弘**  
(郡山南RC)

国際理解研修は、国際感覚を身に付け、異文化等国際理解を深める為の研修です。今年度は、12月21日(水)に『Face to Face, Heart to Heart』～交流を通して他国に心を寄せよう! 交流する際のスキルを身に付けて、実践してみよう!～をテーマに、オンラインで開催しました。当日は、インターアクター・顧問教諭・ロータリアン約70名に参加しました。

3時間半のカリキュラムは3部構成で、第1部は日本語教師の草刈明美先生がファシリテーターとなり、日本語で効果的なコミュニケーションをとるテクニックをご指導頂きました。具体的には、海外の方にとって難解な日本語の言い回しを、簡単で分かり易い言葉に置き換えて伝えることを演習を通して学びました。

第2部は、「オンラインどこでもドア」と題し、カナダ・ベトナム等5か国の県内在住の海外の方とオンラインでの交流会を開催し、相互理解を深めました。現地へ赴き、自分自身の目で見て、体験して、異文化や慣習を学べれば良いのですが、今回の様に、県内や地域の身近にいる海外の方々と会話することでも、国際交流は十分に可能であることを感じ

ました。

第3部では、「メキシコクイズ With Vicky」と題し、現在、喜多方桐桜高校に交換留学生として来日中のVickyさんにクイズを出してもらい、母国メキシコの文化や慣習について学びました。当日は、メキシコのVickyさんのご自宅との中継もあり、ZOOM等オンラインの普及が海外を身近にしてくれていることを実感しました。

結びに、長い期間をかけて今回の研修を企画し、入念な準備をされた喜多方桐桜高等学校の川島先生他顧問の先生方、桐桜高校IACの皆さんに御礼と感謝を申し上げます。



## 第5期 RLI パートⅢ 開催報告 12月18日



RLI 委員会

委員長 佐藤 榮 朗  
(会津若松西RC)

2022年12月18日(日)9:00~16:30 ユラックス熱海に於いて 第5期 RLI パートⅢが、対面でのリアルで開催されました。第2530地区ガバナー佐藤正道様、RLI担当相談役・パストガバナー阿久津肇様、地区研修委員会委員長・パストガバナー石黒秀司様の挨拶を頂きまして始まりまして。講評は、地区代表ファシリテーター・パストガバナー平井義郎様より頂きました。オブザーバーとして、パストガバナー大橋廣治様、ガバナーエレクト右近八郎様、ガバナーノミニ早川敬介様、の方々にも参加していただきました。今回の参加者は、受講者41名、オブザーバー7名、スタッフ6名、RLI委員会18名、計72名、の参加者で開催されました。今年度は、前期内でパートⅠ、パートⅡ、パートⅢ、が終了することが出来ました。パートⅢのセッション内容は、セッション1は「ロータリーの機会」、セッション2は「効果的なリーダーシップ戦略」、セッション3は「ロータリー財団Ⅲ 国際奉仕」、セッション4は「公共イメージと広報」、セッション5は「規定審議会・決議審議会」、セッション6は「変化をもたらす」、この様なセッションの内容で午前は9:00より1時限、2時限、3時限、午後は昼食後13:00より4時限、5時限、6時限、とDLの進行によってディスカッションが進められました。RLI(ロータリーリーダーシップ研究会)の理念は、「質の高いRLIの研修を通じてロータリークラブを活性化すること」です。RLIに参加して受講していただければ、ロータリーの知識が深まり、ロータリーが好きになり、ロータリーへのモチベーションを高めてくれます。ロータリーを理解しモチベーションが高くなれば、活動意欲のあるクラブ会員が増え、クラブが活性化し、クラブが元気になり、会員維持、新会員勧誘に繋がる事になり

ます。RLI委員会は、このようなことを目標において活動を進めています。今回のパートⅢセッション6で、受講者の皆さんよりRLI委員会への要望を出して頂きました。まだまだRLI委員会の知名度、活動内容が知られていないこと意見が多く出されました。今後RLI委員会の活動内容を、地区内のロータリークラブへ情報を提供していきたいと思えます。RLI委員会の後期の予定は、「第5期 RLI 卒業コース」を予定しています。卒業コースは、パートⅠ、パートⅡ、パートⅢ、を受講し卒業された方が対象になります。日程は、2023年4月1日(土) ユラックス熱海に於いて開催の予定です。RLIを卒業された方が対象にはなりますが、多くのロータリアンの皆さんの参加をお待ちしています。



## 地区ロータリー財団補助金奨学生面接選考試験報告 12月24日



ロータリー財団委員会

委員長 田久 昌次郎  
(いわき平中央RC)

年の暮れも押し迫り、中通りに今冬2回目の寒波により雪が舞った2022年12月24日、地区事務所において佐藤正道ガバナー・右近八郎ガバナーエレクト・平井義郎財団相談役のご出席の下、グローバル補助金奨学生候補者の選考試験が行われました。

ガバナー挨拶・グローバル補助金奨学生の概要説明の後、個別に日本語および英語による面談を実施いたしました。今回は福島大学人文社会学部に在籍する優秀な男子学生2名の応募があり、両名とも米国公認会計士資格取得を目指し、ロータリー財団の重点分野「地域社会の経済発展」を視野に入れた大学院進学（英国・豪州）を希望する前途有為な若者

と見受けました。また1名の学生は福島大学の交換留学生として英国からオンライン参加となりましたが、時差を感じることなく、DXの有用性をまざまざと実感することができる機会ともなりました。

選考の結果、両名ともグローバル補助金奨学生候補者として、ロータリー財団に推薦することが決定をいたしました。現段階は候補者ではありますが、受入れ地域の決定ならびに財団への申請・承認を経て、グローバル補助金奨学生として1名は7月より豪州、他の1名は9月からの英国大学院への留学を目指します。まだ留学はこれから。ましてはそれぞれが目指す道の入口に差し掛かったばかりですが、今後も前途有望な二人の若者へのご理解・ご支援をお願いいたします。

なお、地区補助金奨学生の応募は2年連続でありませんでした。新型コロナウイルスが落ち着きを取り戻せば、次年度以降、各クラブからの推薦・応募を期待しますことを申し添え、報告といたします。

## 第5回諮問委員会 1月21日



地区幹事

佐藤 日出夫  
(喜多方RC)

2023年1月21日（土）11:00～12:30に、第5回諮問委員会が会津若松ワシントンホテルにて開催されました。（諮問委員16名中12名が出席）

佐藤正道ガバナーのあいさつの後、下記報告事項の報告と諮問が行われました。

### ・報告事項

1. 2022-23年度地区資金の上期執行状況報告
2. 2022-23年度上期会員数の推移について
3. ロータリー財団地区補助金事業の追加申請一覧
4. 2022-23年度ロータリー財団寄付金の上期報告
5. 2022-23年度米山寄付金の上期報告
6. 代表議員推薦について

### ・諮問事項

1. 第41回RYLA研修会について
2. 第16回全国RYLA研究会について（次期福島にて開催予定）
3. 次期地区チーム研修セミナーについて
4. 次期PETSの開催について

上記報告事項5の米山寄付について、上期の普通寄付額0が8クラブある事について、普通寄付の意義について該当クラブへ丁寧な説明が必要ではないかとの意見が複数の諮問委員より出ました。

IMはロータリーについて勉強をするためのものである。外部講師をお招きしてロータリー以外の事をご講演いただくのは如何なものか？各クラブが直面しているクラブ運営に関する問題解決について学びとなる場とすべきではないかとの意見も出ました。

予定時間をオーバーするくらい積極的な意見交換が行われました。

以上、報告と致します。

## 第2回ガバナー補佐会議開催報告 1月21日

地区幹事

**佐藤 日出夫**

(喜多方RC)

2023年1月21日(土) 14:00~15:30に、第2回ガバナー補佐会議が会津若松ワシントンホテルにて開催されました。(ガバナー補佐8名中6名出席)

佐藤正道ガバナーのあいさつの後、下記報告事項の報告と協議が行われました。

・報告事項

1. 2022-23年度上期会員数の推移について
2. 2022-23年度ロータリー財団寄付金の上期報告
3. 2022-23年度米山寄付金の上期報告

・協議事項

1. IMの開催について

2. 新会員研修会について

3. 2024-25年度ガバナー補佐推薦について

上記報告事項3の米山寄付について、上期の普通寄付額0が8クラブある事について、ガバナー補佐の方々より普通寄付の意義について該当クラブへ丁寧な説明をお願いしたい旨ガバナーよりお願いがあった。

IMの概要について、ガバナー補佐の方々より説明をいただきました。

1つでも多くのクラブがロータリー賞を受賞出来るように、ガバナー補佐の皆様にご支援いただきたい旨、ガバナーよりお願いがあった。

(特にロータリークラブセントラルの未入力クラブ0を目指して)

以上、報告と致します。

## 後期地区委員会総会開催報告 1月21日

地区幹事

**佐藤 日出夫**

(喜多方RC)

2023年1月21日(土) 13:30~17:00に、後期地区委員会総会が会津若松ワシントンホテルにて開催されました。(出席者数122名)

佐藤正道ガバナーの開会点鐘後、佐藤正道ガバナー、石黒秀司地区研修リーダーにご挨拶をいただきました。その後、13の分科会に分かれ90分間上期活動の振り返り、後期活動の打合せが行われました。

分科会終了後、全大会を再開させていただき11の委員会委員長より発表をいただきました。詳細につきましては、次号月信にてご報告させていただきます。

以上、報告と致します。



# 業種を超え、世代の垣根を超えた 学びで福島を盛り上げる

## 福島民友

福島民友新聞株式会社

代表取締役社長 **中川 俊哉 氏**

所属：福島ロータリークラブ

### プロフィール

1957年生まれ。東北大学文学部史学卒業後、80年読売新聞社に入社。東京本社航空部長、地方部長、北陸支社長、北海道支社長を歴任。2016年東京本社取締役労務担当、19年福島民友新聞社取締役副社長 経営戦略・販売担当を経て、20年福島民友新聞社代表取締役社長 編集主幹に就任。



地域によって千差万別。  
福島で感じた人のよさ

福島に来たのが2019年。福島ロータリークラブ（以下：RC）

に入会したのもその年でした。その前は富山県高岡市のRC、札幌のRCの会員だったこともあり、大体の活動は知っていました。その地域で活動の内容や定例会の雰囲気

が異なっていました。福島RCはとても馴染みやすい環境で他県のRCよりも水が回っていますね。会員の皆さんもとてもよくしてくださって、新参者でもすぐに溶け込めると思います。

70周年の記念事業で行った桜の植樹や接ぎ木の講習など、郷土を大切にしている活動は素晴らしいものだと感じました。接ぎ木の仕方や桜のことについて講習を受けることは滅多にありませんし、知らなかったことを知ることができたのもよかったです。

RCの活動を知ってもらうために、こうした講習会に地元の方を招いたり、会員の皆さんが高校生や大学生にSNSの活用法、上手な情報発信のレクチャーを受けることも、一つの方法ではないでしょうか。

クラブ自体の周知や幅広い年代

との交流にもつながり、我々も勉強になるのではないのでしょうか。それぞれのよさを見極めながら最適な発信を

近年、若者を中心にテレビ離れや活字離れが進んでいると言われています。情報を得る手段はインターネットやSNSが主流です。こうしたなか、弊社でも「みんな

ネット」というウェブサイト他にSNSや動画などを活用して情報を発信しています。デジタルは情報発信のスピードには長けていますが、どんどん新しい情報に埋もれていってしまいます。新聞はデジタルに比べ情報を

を大切に残すことができます。スマートフォンやタブレットなどの端末が悪いというわけではありませんが、どうしても一過性になってしまいます。よほどのことがない限り記事の内容が心に残りません。

地域の情報を掘り下げて記事として残していく、RCの活動も大小に関係なく丁寧に残すことで周知につながります。それが地域との深い関わりに発展していくことも大いに考えられます。

紙には紙、インターネットにはインターネット、SNSにはSNS

S。それぞれのよさがあります。ただし、ニュース報道を深く理解するために紙の新聞が一番優れていると考えています。

次世代が誇れる、ふるさと福島を創生する

震災から11年が経過するなかで、復興は着実に進んできています。

福島イノベーション・コースト構想の取り組みにより、廃炉のための研究開発拠点や福島ロボットテストフィールドなどの実証拠点が整備され、航空宇宙産業の最先端技術も集まるようになってきています。

これは雇用創出や人口流出に歯止めをかけるものと期待されています。

それとともに豊かな風土が残っていることも忘れてはいけません。最先端のものが生まれ、かつ豊かな自然に育まれた、ふるさとの魅力があります。

将来を担う子どもたちが自分のやりたい研究や仕事ができる環境、おいしい野菜や果物が実る豊潤な土地。その両方がある「誇れるふるさと福島」をつくることだ





# 第41回RYLA研修会 参加者募集

テーマ

## 生きる 未来への発信

開催日 令和5年

4月8日(土)・9日(日)

開催場所

母畑温泉 八幡屋

コロナ禍で若者が夢を持ちにくい世の中になっています。RYLA研修会に参加したことで希望ある未来へのヒントをつかむことができることを願っています。来年度は全国大会が福島で開催されますので、各クラブから1名以上のRYLA研修生のご参加をお願いいたします。当日は、ロータリアン2名を含め経済産業省資源エネルギー庁の木野正登様をお迎えし講演会を開催いたします。さらに、9日は福島県環境創造センター交流棟「コミュニティン福島」への視察も予定しています。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。



講演

「福島での12年間の活動 廃炉と復興への思い」

講師

経済産業省資源エネルギー庁 廃炉・汚染水・処理水対策官  
廃炉・汚染水・処理水対策担当室現地事務所 参事官

木野 正登 様



ワークショップ

「アンガーマネジメント」～怒りの対処術～

講師

株式会社 岡田プランニング  
代表取締役  
AMコンサルタント

岡田 友子 さん

### RYLA研修会参加資格

18歳から40歳くらいまで/  
学生、社会人、ロータリーファミリー

募集人数／80名

※定員に達した時点で締め切りいたします。

参加費／16,000円



講話

「海外視察雑感」～百聞は一見に如かず～

講師

田代行孝税理士事務所  
税理士

田代 行孝 さん

## 新会員紹介

●中央分区 郡山北 RC  
**須藤由香利** すどう ゆかり  
●入会日 2022年12月5日  
●職業分類 生命保険  
●勤務先 明治安田生命保険相互会社 郡山営業部

●東北第一分区 福島 RC  
**善方 邦彦** ぜんぼう くにひこ  
●入会日 2022年11月24日  
●職業分類 葬祭業  
●勤務先 株式会社善邦

●いわき分区 いわき平 RC  
**川瀬 直史** かわせ なおふみ  
●入会日 2022年12月1日  
●職業分類 事務機器販売  
●勤務先 関彰商事株式会社

●東北第二 川俣 RC  
**目黒 正則** めぐろ まさのり  
●入会日 2022年11月1日  
●職業分類 土木工事  
●勤務先 株式会社フルカワ

## 三春ロータリークラブ事務局 移転のご案内

事務局移転日 令和5年1月1日

— 旧住所 —

〒963-7741  
福島県田村郡三春町八島台 5-3-9  
TEL：0247-62-2334 FAX：0247-62-2334

— 新住所 —

〒963-7719  
福島県田村郡三春町貝山字泉沢 100-1  
TEL：0247-62-2334 FAX：0247-62-8320  
e-mail：rcmiharu@gmail.com  
事務局担当 松崎美加  
(月)～(金) 13:00～17:00

## 郡山北ロータリークラブ 例会場変更のご案内

郡山北ロータリークラブの例会場が  
**ホテルハマツ**から、**ベルヴィ郡山館**  
に変更になりましたので、お知らせいたします。





## 四つのテスト

委員 **小池 正幸**  
(郡山東RC)

「四つのテスト」『The Four-Way Test』の日本語訳を語り合おう。

職業人としてロータリーの心構えを簡潔にまとめたものが「四つのテスト」です。

### ①四つの自省

言行はこれに照らしてから

1. 真実か、どうか

1. みんなに公平か

1. 善意と友愛を深めるか

1. みんなのためになるかどうか

### ②四つのテスト

1. これは真実でしょうか

2. これはみんなに公正でしょうか

3. これは好意と友情を深めるものでしょうか

4. これはみんなのためになるものでしょうか

### ③事に当たりて先ず問はむ

それが真実で正しいか

公明正大明朗に

好意と友誼を増進し

凡ての者を益するか

### ④渡世四針

1. 真意ですか？

2. 一様に公平ですか？

3. 友愛と親善を深めますか？

4. 漏れなく潤ひますか？

### ⑤四つのテスト

1. それは真実ですか

2. それは誰にとっても公正ですか

3. それは善意（或いは好意）とよりよき友情を育むものでしょうか

4. それは誰にとって有益なものですか

### ⑥四つの道

1. それは正しい事か

2. 公明妥当か

3. 好意と友情を深めるか

4. 皆んなに有益か

### ⑦ロータリー問答

1. 正しいことか？

2. 当事者全部に公正であるか？

3. 好意とよりよき友情を産み出すか？

4. 当事者全部を益するか？

### ⑧四つの誓い

1. 真実を語りあおう

2. だれに対しても公平にしよう

3. 誠意と友情とを盛り上げよう

4. 社会全体の利益を図ろう

### ⑨四つのテスト

1. 真実か、嘘はないか？

2. 当事者の誰にも公正か、誰かに不公平ではないか？

3. 好意と友情を増すか、敵意と憎悪を招かないか？

4. 当事者全部のためになるか、誰かの不利にはならないか？

(2014年手続要覧より)



Rotary



## ロータリー国際大会2023

2023年5月27日(土) ~ 31日(水)

オーストラリア/メルボルン

登録料

2022年12月15日まで

\$475

2022年12月16日~2023年3月31日まで

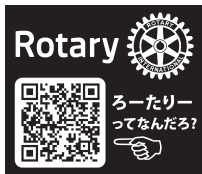
\$575

2023年4月1日~2023年5月31日まで

\$675

### ● 公共イメージIT委員会からのお願い ●

友人や知人の方にロータリーを紹介しましょう♪  
スマホのカメラで QR コードを読み取ってください



一般向けサイト



Facebook ページ

### 今月の表紙紹介

写真提供：  
(一社) 喜多方観光物産協会



喜多方市山都町の冬の味覚「寒晒(かんざら)しそば」に使うソバの実の寒流浸し風景。

冷たい清流に浸した後、寒風で乾燥させることでうま味成分がつけられるとされており江戸時代には將軍家にも献上されたと伝わっております。